



栗原市立一迫中学校閉校記念誌

四十年の軌跡



2012.03



目次

校歌・校章・校旗・校木

校歌	1
校章・校旗・校木	2

あいさつ

一迫中学校 閉校記念誌の発刊に寄せて	栗原市長 佐藤 勇	3
一迫中学校の閉校に寄せて	栗原市教育委員会教育長 亀井 芳光	4
閉校 そして新たな学校へ	栗原市立一迫中学校長 高橋 孝夫	5
一迫中学校閉校に寄せて	栗原市立一迫中学校PTA会長 曾根 一也	6

学校の概要

学区について・生徒の様子・位置図	7
学校平面図・校舎配置図	8

歴代校長・歴代PTA会長

歴代校長	9
歴代PTA会長	9

沿革の概要

昭和47年～昭和51年の沿革と当時の写真	10	
寄稿文 「自分より幸せな子供」	昭和47年度卒業生 氏家 竹道	11
昭和52年～昭和56年の沿革と当時の写真	12	
昭和57年～昭和61年の沿革と当時の写真	13	
寄稿文 「閉校に寄せて」	昭和61年度卒業生 谷田 敏幸	14
昭和62年～平成3年の沿革と当時の写真	15	
平成4年～平成8年の沿革と当時の写真	16	
寄稿文 「一つになった 生徒達」	第9代校長 松田 節郎	17
平成9年～平成13年の沿革と当時の写真	18	
寄稿文 「伝統の襷」	平成14年度卒業生 長柴 翔	19
平成14年～平成18年の沿革と当時の写真	20	
寄稿文 「雑感」	第13代校長 高橋 義昭	21
平成19年～平成23年の沿革と当時の写真	22～23	

在校生のページ

1年1組	24
1年2組	25
2年1組	26
2年2組	27
3年1組	28
3年2組	29

花山中学校との交流

— 30

あとがき

栗原市立一迫中学校 教頭 小野寺 敏幸 — 31





一迫中学校 校歌

作詞 菊地 新
作曲 福井文彦

さわやかに、誇りをもって (♩=108)

Handwritten musical score for the school song. It consists of eight staves of music. The lyrics are written below the notes. The score includes various musical notations such as clefs, time signatures, dynamics (mf, V), and articulation marks (accents, slurs). The lyrics are: くりこみはかくくもへえまのり かまいのちのあまぼらけの そみすがくきそいつつい まそはたごくゆうじょうのう 長ごえはけはけはからか 1. Pine ラン ランラン ラン ラ ランランラ 2. ラン ランラン ラン ラ ラン ラン ラン ラン ラン ラン ラン ラン ラン ラン ラン ラン D.S.

一迫中学校 校歌

作詞 菊池 新
作曲 福井文彦

一、栗駒たかく 雲映えて
わかき命の 朝ぼらけ
のぞみすがしく きそいつつ
いまぞ花さく 友情の
歌ごえひびけ たからかに

二、地平は遙か 風ひかり
ながれつらぬく 迫川
遠き未来を のぞみつつ
わかき力の たゆみなく
磨かんとともに 知恵とわざ

三、真心あつく 星きよく
歴史に薫る ふるさとよ
高き誇りを かかげつつ
翼りりしく はばたきて
進まん道に さかえあれ





■校章と校章の由来



校章の由来

三方向への広がり、栗原市の無形文化財、八ツ鹿踊りの角を表すとともに、迫川の清い流れの波を図案化したものである。

また、その波形は山王遺跡から掘り出された三つの玉と解してもよく、学校教育の『知・徳・体』の三本柱をも表現している。

■校旗



■校木の石碑



ポプラのように 高く
ポプラのように 強く
ポプラのように まっすぐに



校木（ポプラ）記念植樹
平成5年11月20日



一迫中学校 閉校記念誌の発刊に寄せて

栗原市長 佐藤 勇

一迫川や長崎川などの清らかな川が流れ、田園風景が広がり、縄文時代の遺跡が残る、自然豊かな地域にあり、子どもたちに多くの学びを与えてきた一迫中学校が閉校するにあたり一言ごあいさつ申し上げます。

一迫中学校は、昭和47年の開校以来、40年にわたる長い歴史と伝統を築き、一迫地区の発展と地域文化の進展に重要な役割を果たしてこられました。

この間、多くの優れた人材を世に送り出し、県内外におきまして、幅広い分野でご活躍されておりますことは、一迫地区の皆様の長年にわたる温かい御支援の賜であり、厚く御礼を申し上げます。

また、歴代の校長先生をはじめ、教職員、関係者の皆様の並々な御尽力に対し、深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

さて、長い歴史の中で、保護者をはじめ地域の方々の学校教育に対する深い御理解と御協力によりまして、健全な子ども達の育成やPTA活動が活発に行われてきたのが一迫中学校であります。

特に、自主・自立、甘えを断つ、己に厳しく、たくましく、を教育目標に掲げ、総合的な学習の時間の中で農業体験活動や地域の職場訪問、在京一迫会への訪問など、地域の人材や一迫出身者に協力いただいたふるさと学習を推進するとともに、選択教科の中でも、古くから地域に語り継がれた民話や八ツ鹿踊りなどの伝統芸能を取り入れるなど、ふるさとに根差し、ふるさとを愛し、ふるさとに誇りを持ち、将来をたくましく生きる生徒の育成に力を注がれてきたところであります。

また、楽しい学校づくり、信頼される学校づくり、分かる授業づくり、安心できる学校づくり、豊かな心・体づくりの五項目を重点に置き、創意ある教育活動の推進や生徒の自己実現を図る教育活動、指導力の向上を目指した研修の充実を図るとともに、開かれた学校づくりを推進してこられました。

このような活動が認められ、様々な分野において全国表彰や宮城県表彰などを受賞してきたほか、各種スポーツにおいても、全国大会で数々の優秀な成績を収めてきたところであり、教育環境の整備や地域と学校が一体となった教育が子ども達を健やかに、そしてたくましく育ててきたものと感じております。

これまで当校を巣立った皆様にとりまして、母校の閉校は何事にも代え難い寂しさであり、また、地域の皆様の愛惜の念も深いものと拝察いたします。しかし、ここで歴史が終わるのではなく、これからは次代へ一迫の歴史と伝統が受け継がれていくよう願うものであります。

栗原市といたしましては、今後も、学府くりはらの実現に向けて、教師と子ども達がしっかりと向き合い、学校生活に満足感や達成感がこれまで以上に得られる、教育環境づくりを目指すとともに、一迫中学校が育んだ歴史が長く受け継がれ、新しい地域の歴史が築かれていくことを心から御祈念申し上げ、閉校記念誌発刊のあいさつといたします。



伝統の八ツ鹿踊り



一迫中学校の閉校に寄せて

栗原市教育委員会
教育長 亀井 芳光

平成24年4月、一迫中学校は花山中学校と再編し、現在の一迫中学校校舎で「栗原市立栗原西中学校」としてスタートすることになりました。再編にあたり、ご理解とご協力をいただきました一迫地区の皆さまに心より感謝申し上げます。

さて、一迫中学校は昭和22年4月、新しく制定された教育基本法で示された六・三・三・四制の学校制度のもとに設置されました。以来、昭和42年、姫松中学校と統合し、その後、昭和47年、町内三中学校（一迫中・金田中・長崎中）を統合し、現在の地に開校されました。一迫中学校は今日まで、多くの優れた人材を育て、また、部活動や文化活動においてもその活動や成果が顕著であり、多くの歴史や伝統を積み重ね、地域の教育振興・文化活動の拠点として歩み続けてきた学校であります。

このように地域と共に歩み続けてきた学校の名称が再編により変わることは、地域の皆さまにとっては計り知れない寂しさや愛惜の念を禁じえないことと思います。

しかしながら、少子化による児童生徒数の著しい減少や部活動の運営ができなくなっている現状にあることも事実であります。更には急激に変化する社会情勢や国際化等を考えたとき、将来を生き抜く心身ともにたくましい子どもたちの育成を考えると、学校再編も避けては通れない一つの道であります。

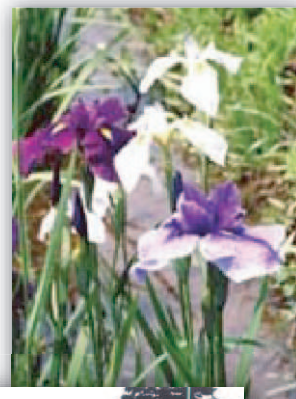
多くの友だちとの友情や切磋琢磨の中で、自分のめあてを持って、若き力を発揮できる教育環境を整えていくことも、私たち大人に課せられた責務でもあります。

学校再編は単に子どもたちだけではなく、保護者や地域の皆さんの再編でもあります。学校と地域の新しい結びつきを作り上げていくことや「地域の子どもは地域で育てる」という新しい地域コミュニティの構築が求められているのであります。

地域に根ざした新しい学校の実現のためには、家庭・地域・学校・関係機関との連携が大切であり、子どもたちだけでなく、地域の方々の交流が強く求められることも事実であります。老若男女を問わず、多くの皆さんが親睦と交流を深め、「再編してよかった」と語り継がれるような新しい学校を創り上げていただきたいと切に願っております。

子どもたちも地区の皆さんもこれまで受け継がれてきた一迫中学校そして新しく仲間に加わる花山中学校の輝かしい歴史や伝統を受け継ぎ、新たな希望を持って「地域と共に歩む新しい学校」の創造に向けて取り組んでいってくれることを信じてやみません。

結びに、これまで永きにわたり学校を支えてこられた地域の皆様に心より敬意と感謝申し上げまして閉校記念誌に寄せる言葉といたします。



山王史跡公園あやめ園





閉校 そして新たな学校へ

栗原市立一迫中学校
校長 高橋 孝夫

「歴史に薫るふるさと」と校歌にうたわれ、山王遺跡や豊かな田園風景に囲まれた地に立つ一迫中学校は40年の歴史に幕を閉じることになりました。

一迫中学校は、昭和47年に旧一迫町内にあった3つの中学校、一迫中学校（昭和42年に姫松中学校が統合）、金田中学校、長崎中学校が統合し、40年にわたり「地域の学校」として歩んでまいりました。この間、14,855名（各教場時代の卒業生も含む）の卒業生を送り出し、多くの卒業生が県内外において、さまざまな分野で活躍していると聞いております。このことは、保護者の方々、歴代校長先生始め教職員の方々、地域の方々の教育に対する温かい愛情、ご支援、ご協力の賜物であり、深く感謝を申し上げる次第です。

統合当時、掲げられた教育目標は、「平和な民主社会の形成者としてその発展に貢献することのできる必要な資質を養い心身ともに健全な社会人の育成にあたる」でした。目指す生徒像として「くすすんで学習する生徒 規律正しく、責任を重んずる生徒 健康で、心の豊かな生徒」が設定されました。その後、平成2年に教育目標は『「自主・自律」～甘えを断つ・己に厳しく・たくましく～』に改定されましたが、統合当時の精神を受け継ぎ、現在に至っております。

昭和61年には「ポプラ」が校木に制定されました。ポプラの教え「ポプラのように高く強くまっすぐに」は、迫中生の精神的支柱として、教育の根幹を支える言葉として、引き継がれ、今なお、在校生、卒業生の心に脈々と生き続けています。

平成4年には「ふるさと学習」が総合的な学習の時間に開始されました。一迫町議会傍聴、仙台生花市場への菊の出荷、地場産業の体験学習や職場訪問など、地域に根ざした教育活動が行われ、現在に至っております。また、民話の学習や地域の伝統芸能、八ツ鹿踊りの継承にも力を入れてきました。これらのことは、ふるさとを愛し誇りに思う生徒の育成に大きな力となってきたと確信しております。さらには、運動面、文化面においても全国大会等において数々の優秀な成績を上げるなど、輝かしい歴史をも築いてきました。

輝かしい歴史と伝統のある学校が閉校になることは、校長として、地域の一員として寂しく思いますが、少子化の影響は免れることはできません。

今後、校名が変わっても、これまで築いてきた歴史や伝統が確実に新生栗原西中学校に受け継がれ、また、再編される花山中学校の歴史と伝統をも引き継ぎ、融和を図りながら、地域に親しまれる学校となるよう努力していく所存でございます。

結びに、閉校にあたりご尽力いただきました栗原市教育委員会及び一迫・花山地区中学校再編準備委員会の皆様、関係各位に御礼と感謝を申し上げ、また、新生栗原西中学校へも引き続き温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。閉校記念誌への言葉とさせていただきます。





一迫中学校閉校に寄せて

栗原市立一迫中学校
P T A会長 曾根 一也

40年と言う歴史に幕を下ろす事になり、多くの卒業生を送り出した学校ともお別れするという事は、とても淋しく思います。実は私も卒業生の一人でそれも第一回卒業です。何か不思議な縁と申しましょか、その私がこうして原稿を寄せている事、本当に有り難く思いますし、それと同時に時代の流れも感じております。

生徒の減少により、再編しなければならないと言う現実も受け止めなければならないと痛感しております。この再編に対して、いろんなご意見も寄せられ再編準備委員会で審議を重ねた結果、一迫中学校と花山中学校との再編が進められ4月から新たに栗原西中学校としてスタートする事に成りました。

私は、この再編で感じた事は一番に考えなければならないのは、子供たちの教育環境だと思いました。お互いに切磋琢磨出来る事が必要です。そうする事によっていろんな刺激を受けより良い学校生活を送れるのではないのでしょうか。

確かに、閉校は淋しいです。それは一迫中学校・花山中学校の生徒・父兄・地域の方々にとって同じだと思います。しかし、前向きに両校の心意気を栗原西中学校へと引き継いで欲しいものです。

最後に、一迫中学校と縁の有った多くの皆様に、お礼を申し上げ閉校の言葉と致します。





■学区について

栗原市の西部に位置し、迫川流域の旧一迫町と長崎村・金田村・姫松村の三村が合併した地域であり、学区内には縄文時代の遺跡や数多くの名所があるなど、市の中でも古くからの歴史を誇る地域である。

地域の中央部に商店街、周辺が農村地帯であり、地域の人々は人情に厚く、教育に強い関心を示している。

昭和42年4月、一迫中と姫松中統合。昭和47年4月、三中学校（一迫中・金田中・長崎中）を廃し、一迫中学校と改称。（三中学校が統合）平成17年4月、旧栗原郡内10ヶ町村の合併により、栗原市立一迫中学校と改称。



■生徒の様子

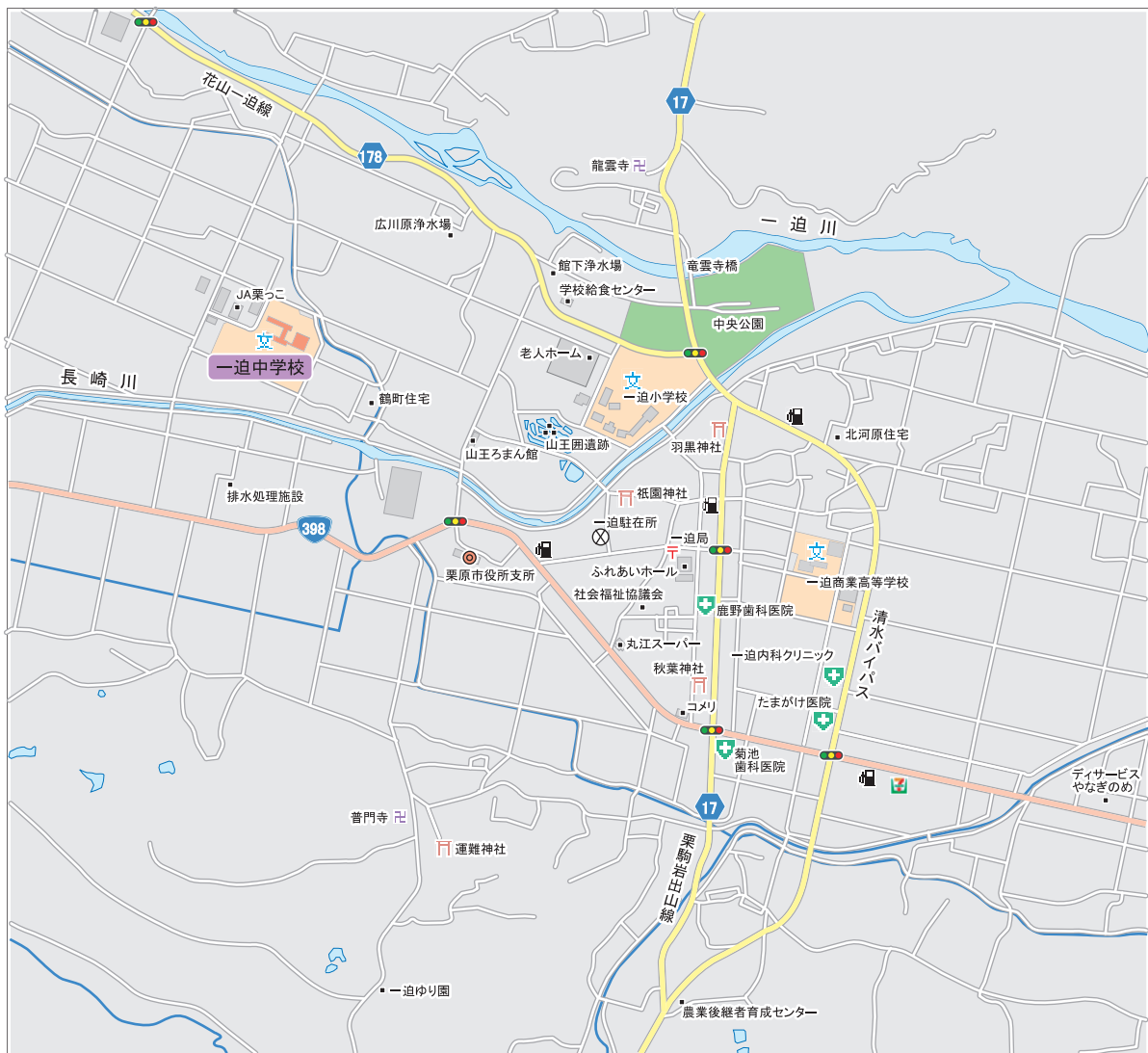
素直で明るい生徒が多く、各種行事等において、役割分担を積極的に果たす。

対外的に運動・文化両面での活躍が多く、大きな評価を得ている。

基本的な生活習慣が身に付いている。

物事の見方や考え方、判断力などを高めることが課題である。

■一迫中学校位置図

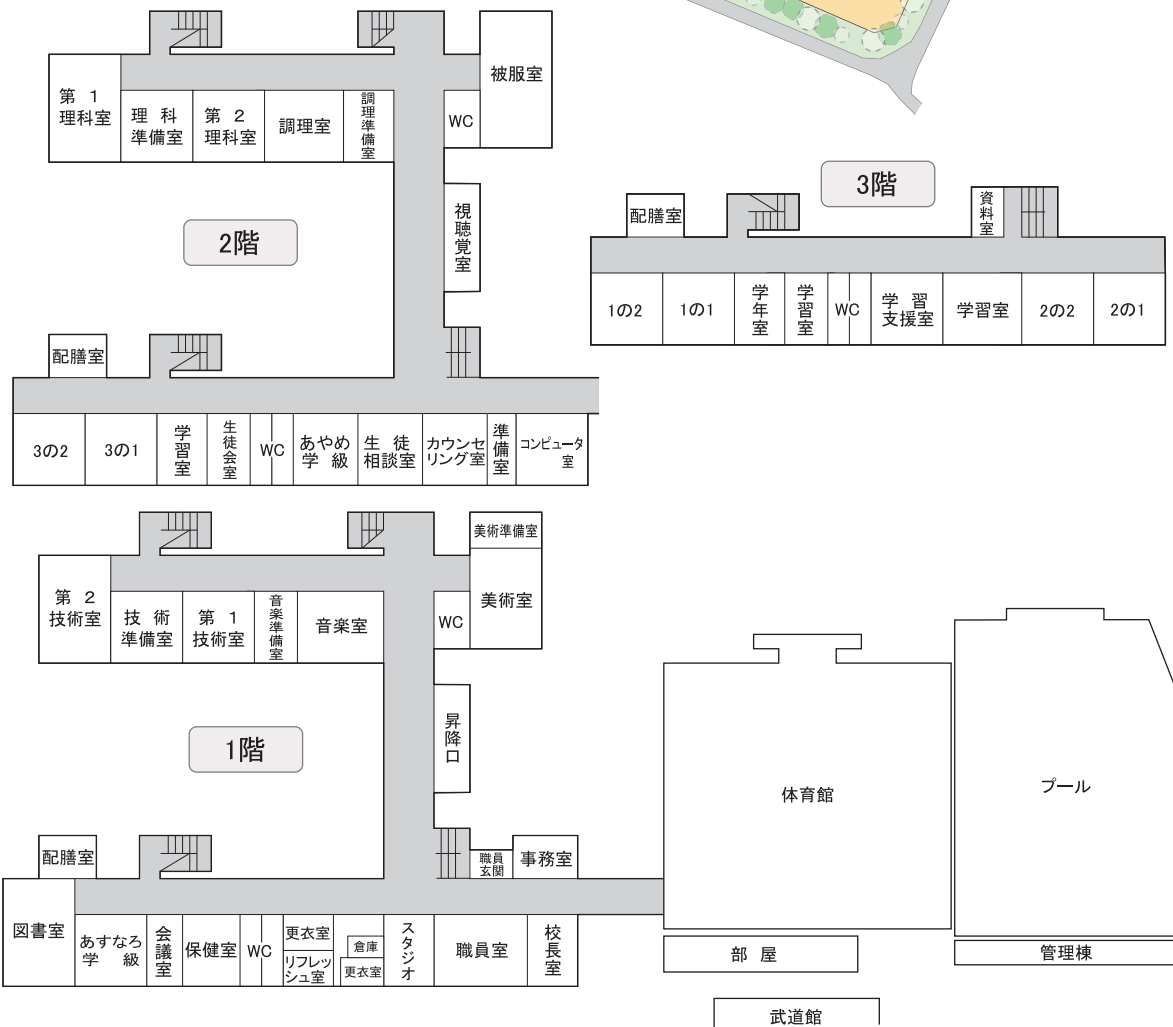




■ 学校平面図



■ 校舎配置図





歴代校長

初代	津軽 克郎先生	昭46~47
第2代	千葉平八郎先生	昭48~51
第3代	遊佐 強先生	昭52~53
第4代	三塚 宗伍先生	昭54~57
第5代	佐藤 典夫先生	昭58~60
第6代	佐藤 一男先生	昭61~63
第7代	石川 尚先生	平元~3
第8代	佐藤 光平先生	平4~6
第9代	松田 節郎先生	平7~8
第10代	小野寺邦義先生	平9~10
第11代	氏家 鴻堂先生	平11~12
第12代	後藤 彪先生	平13~15
第13代	高橋 義昭先生	平16~17
第14代	門傳 忠實先生	平18
第15代	菅原 敏郎先生	平19~20
第16代	三浦 典道先生	平21~22
第17代	高橋 孝夫先生	平23

歴代PTA会長

初代	加藤 幸夫会長	昭49~51
第2代	阿部 勝男会長	昭52~54
第3代	杉本 重男会長	昭55~57
第4代	石川 憲昭会長	昭58~60
第5代	伊藤 光彦会長	昭61~63
第6代	佐藤 孝人会長	平元~2
第7代	小野 昭光会長	平3~4
第8代	千葉 房義会長	平5~6
第9代	熱海 信彦会長	平7~9
第10代	遊佐 信彦会長	平10
第11代	田代 秀一会長	平11~12
第12代	佐藤 秀喜会長	平13
第13代	佐藤 俊郎会長	平14~15
第14代	小山 健治会長	平16
第15代	門傳 英慈会長	平17~19
第16代	狩野 康会長	平20~22
第17代	曾根 一也会長	平23





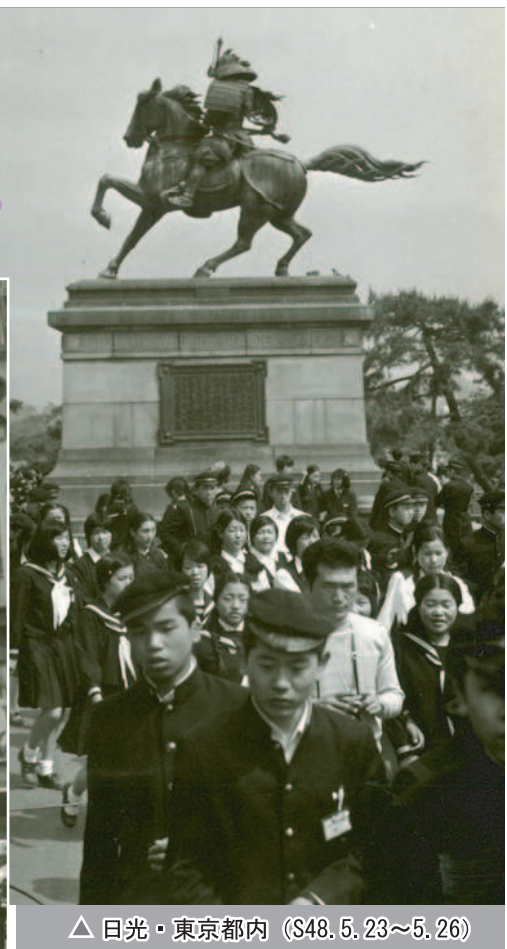
元号	年	月	日	沿革
昭和	47	4	1	三中学校（一迫・金田・長崎）を廃し、一迫中学校と改称
	47	4	1	統合時校長 津軽 克郎先生
	47	4	1	三教場統一調整のため専門委員会制をとる 校章・校旗決定
	48	4	1	第2代校長 千葉 平八郎先生着任
	49	3		校歌制定（作詞 菊池 新先生 作曲 福井 文彦先生）
	49	4	1	実質統合成り、一迫中学校として発足
	49	5		体育館完成
	49	6	18	校歌発表会
	50	6	20	体育館施設増設
	51	10		校庭整地（改良） 相撲場（移転）完成 校旗寄贈

郡総合体育大会 ▶



修学旅行

△ 日光・東京都内 (S50. 5. 27~5. 30) ▶



△ 日光・東京都内 (S48. 5. 23~5. 26)

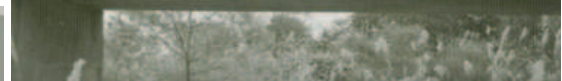




クラス集合写真▷



△ 運動会 ▷



▲ 卒業式

寄稿文

自分より幸せな子供

昭和47年度卒業生
氏家 竹道

人生で一番楽しかった時期を一迫中学校で過ごせた事、この上もない喜びです。財産です。私たちは、旧一迫中と姫松中が統合して間もなく一迫中に入学。卒業は新一迫中になって一迫教場卒業となりました。まだ校歌のない卒業式でした。

当時の中体連は、東西南北大会を経て郡大会でした。西部は一迫と花山でしたので、校内大会（金田・長崎・一迫）を戦ってから優勝チームを選び西部大会へは優勝チームを核にして選手を再編成し強化して西部大会に臨んだ事を思い出します。

私は吹奏楽部でしたので、試合はしませんでした。郡大会は築館中学校を主会場に行いました。開会式は、郡内すべての吹奏楽部員で作る大音楽隊を編成し、入場行進をしました。当時の築館中顧問の千葉靖哉先生が吹くトロンボーンに合わせてチューニングしました。（先生は元自衛官で東京オリンピックのファンファーレを吹いた方）

平成23年3月11日の東日本大震災で、学校を失い、友達と離れ離れにならざる負くなった児童生徒を思うと、人生の大事な栄養分に大きな穴が開いたようなとてもやりきれない思いです。学校は勉強する所です。先生も生徒も保護者も。「自分より幸せな子供を育てる。」この世に生をうけた者の仕事です。一迫中学校は、私にこれを教えてくれました。ありがとうございました。



△ 修学旅行



△ 迫中祭





元号	年	月	日	沿革
昭和	52	4	1	第3代校長 遊佐 強先生着任
	53	9		校庭（芝生）造成
	53	10		文部省指定 道德教育研究会公開（地域指定）
	53	11		体育部室増設
	54	4	1	第4代校長 三塚 宗伍先生着任
	54	7	10	プール完成
	54	9	30	テニスコート完成



△ 全日本中学相撲選手権大会
個人優勝第六代横綱



△ 校内体育大会▽▷



▽ 日光・東京都内（S52.5.13～5.16）



◁ 北海道（S54.5.27～5.30）



◁ 北海道（S53.5.29～6.1）



修学旅行





元号	年	月	日	沿革
昭和	57	10	20	県造形教育研究大会開催
	58	3	15	玄関前庭園縁石工事完成
	58	3	31	石碑「自主自律」建立寄贈（三塚宗伍先生）
	58	4	1	第5代校長 佐藤 典夫先生着任
	58	10	23	統合10周年記念式典 記念事業ブラスバンド一式、八ツ鹿装束、同収納戸棚（町、町民、在京迫会）
	60	8	9	体力づくり施設完成
	61	4	1	第6代校長 佐藤 一男先生着任
	61	9		野球・ソフトボール場に夜間照明施設完成
	61	10	2	文部省指定「体力づくり研究」公開





クラス集合写真（3年1組）



寄稿文

閉校に寄せて

昭和61年度卒業生
谷田 敏幸

今、改めて思うと、卒業して25年が経つということに月日の流れが早いと感じるとともに、母校の歴史が閉じられることに一抹の悲しみを感じております。

私の在学中は当時、文部省から体力作りの指定校になって先生方から指示を受けて、ただひたすらなんか体を動かしていたなあと記憶しています。

また、今はなくなってしまいましたが、迫中祭の振休の日は、全校でいなご取りをしたことを覚えています。ノルマは1kg。いなごが死んでしまうと軽くなるので、減った分を取りに行かされたり、生徒の中には手っ取り早いから長崎の大宮商店で購入して学校に持ってきた生徒がいたこともありました。正月には42の歳祝を開催し、恩師を交えながら同級生と再会して楽しいひとときを過ごすことができました。

後輩の皆様には、何歳になっても再会できる喜びを感じてほしいです。校名が変わっても、迫中魂を忘れずに頑張ってください。



▲ クラブ活動（剣道部）

▼ 迫中祭（S61.11.1～11.2）





元号	年	月	日	沿革	
昭和	62	10	22	「体力づくり」研究に対して文部省より表彰	
平成	元	3	4	校木制定 校木を「ポプラ」に制定。式典を催し、記念碑を建立 (PTA寄贈)	
	元	4	1	第7代校長 石川 尚先生着任	
		2	3	大規模改修第1期工事完成(校舎屋根・自転車置場)	
		3	4	1	在学青少年健全育成推進県教委指定



◀ 栗駒登山



△ 校内体育大会 (S62.5.31) ▽



△ スキー教室



◀ 平成3年 3年4組 担任
高橋孝夫先生 (現校長)

▽ 日光・東京 (S63.4.24~4.26)



日光・東京 ディズニーランド
(S62.4.26~4.28)



日光
東照宮
参拝記念
昭和62年

修学旅行



▽ 日光・東京 食事風景 (S63.4.24~4.26)





元号	年	月	日	沿革
平成	4	3	1	大規模改修第2期工事完成（校舎・屋体外装）
	4	3	10	立看板「一迫中学校」建立寄贈（石川 尚先生）
	4	4	1	第8代校長 佐藤 光平先生着任
	4	4	1	ボランティア活動普及推進協力校指定
	4	6	18	校歌発表会の日に関し「開校記念日」とする
	4	9	6	「一迫中・全校挙げふるさと学習」 ※河北新報紹介
	4	9	12	学校週5日制「第2土曜日」休みスタート
	4	12	21	大規模改装工事・校舎、屋体内装・飲料水用受水槽設置・浄化槽送風機交換
	5	1	29	平成3・4年度宮城県教育委員会指定一迫中学校区生徒指導推進モデル地区実践発表会
	5	9	20	コンピュータ室完成、コンピュータ（22台）導入
	5	9		一迫中学校統合20周年記念事業「文化講演会」（女子バレー金メダリスト中村昌枝氏）
	5	11	20	一迫中学校統合20周年記念式典（記念植樹・記念誌発行・教育活動援助）
	7	4	1	第9代校長 松田 節郎先生着任
	7	12	5	「ふるさと学習実る」一迫町議会傍聴
	8	1		「ふるさと学習実る」菊の生花市場に出荷
	8	3		教育相談室設置
	8	4		「個に応じた指導」県教委指定
	8	8		校庭改良工事竣工（オイルサンド施行）

▼ 壮行式



ハツ鹿踊り（迫中祭）

▼ 授業風景（3年3組）



△ 校内体育大会（H5.5.16）





寄稿文

一つになった 生徒達

第9代校長 松田 節郎

▲全日本吹奏楽コンクール予選第37回宮城県大会

「校長先生、私達の手で運動着を替えさせてください」といって校長室を訪れたのは生徒会長になったばかりの女子生徒でした。それも、迫力のある語りかけです。しばらく話し合った結果「いいだろう」と返しました。

それからというものは、生徒会の役員を中心に「やろう」の一声で、全校生徒が一つになって運動着製作に立ち向ったのです。その時の生徒達の姿は、意気天を突くかのように燃えていました。

3種類の試作品が職員室前に陳列されたのは、年が明けてからでした。それから更に検討し続けたのです。

その間に私は、先生方の知恵を借りながら、町の商工会衣料店の人々やこれまでの製造元に幾度となく折衝し続けました。生徒達の熱意を理解していただくためにです。

そうしてできあがったのが現在の運動着なのです。今では、いい思い出です。



△ 修学旅行 日光・東京



△ 迫中祭 八ツ鹿踊り



△ 校内マラソン大会

◀ 授業風景 (3年3組)





元号	年	月	日	沿革
平成	9	4	1	第10代校長 小野寺 邦義先生着任
	9			新しい運動着採用
	9	10	1	県指定公開研究会「個に応じた指導」
	9	11	16	ホッケー部創設
	10	4		スクールカウンセラー配置
	11	4	1	第11代校長 氏家 鴻堂先生着任
	12	1		「全校挙げ総合的な学習の時間の工夫」 ※教育雑誌掲載
	12	3		文部省委託「スクールカウンセラー活用調査研究事業」誌上報告
	12	3		平成11年度「農業体験学習の記録」発刊
	12	4		「心の相談員」の配置
	12	11	24	模擬議会の実施
	13	4	1	第12代校長 後藤 彪先生着任
	13	8		放送設備設置・自転車置場設置・駐車場拡張
	13	9		校庭改修
	13	10	15	第56回みやぎ国体ホッケー競技への協力



◁ 集合写真

▽クラブ活動 ハツ鹿



◁ 校内体育大会 ▷





◀ ふるさと体験学習

寄稿文

伝統の襷

平成14年度卒業生 長柴 翔

「一迫中学校の伝統という襷を在校生の皆さんに渡します。」と卒業生代表で答辞を述べてから、もう9年も過ぎてしまいました。

私の中学校生活の3年間は、野球、陸上、生徒会活動と忙しく過ぎ、毎日何かに打ち込んでいました。私が、好きな野球や陸上に集中でき、自分の力以上の結果を残せたのも、先生方や先輩、同級生、後輩の皆さんのご理解やご協力があったからです。野球の中体連の大会で自分の力が及ばず悔しい想いをした時「翔、泣くな、まだまだ諦めるな」と励ましてくれた顧問の先生、暗くなるまで、走りの指導をしてくれた陸上競技協会のコーチ、私が今あるのも中学時代私を支えてくれたたくさんの方々のおかげです。

私の原点は、一迫中学校にあります。その伝統のある一迫中学校の襷を今度は在校生の後輩の皆さんが栗原西中学校の伝統の襷として行って下さい。



△ 迫中祭 第28回
「Pure Wing」(平成13年度)



△ 校内体育大会

▽ 授業風景



▽ 給食風景





元号	年	月	日	沿革
平成	14	7		水泳プール浄化装置更新
	16	4	1	第13代校長 高橋 義昭先生着任
	16			福祉教育・ボランティア学習推進協力事業協力校 (H16から3ヶ年)
	17			地域の教育力向上支援事業 (H17から3ヶ年)
	17	12	7	柔剣道場着工
	18	4	1	第14代校長 門傳 忠實先生着任
	18	4		柔剣道場竣工
	18	8	17	全日本中学生ホッケー選手権大会 男子優勝
	18	8	18	全国中学校柔道大会 女子団体第3位
	18	10	4	宮城県中学校駅伝競走大会会場 (H18から3ヶ年)



ふるさと体験学習
栗原市一迫保育所

▲ 登米市・栗原市
中学校駅伝競走大会

◀ 授業風景

▼ 全日本中学生ホッケー選手権大会
男子優勝

JOCカップ
第36回全日本中学生ホッケー選手権大会
2006.8.17-8.20
山形学院EO(財団)野球記念事業
山形学院ホッケースタジアム

一迫中学校





3年生集合写真

寄稿文

雑感

第13代校長 高橋 義昭

だれもが経験したことのない地震、想像を遥かに超えた津波、加えて、震災後のゲリラ豪雨や台風による集中豪雨、日本が自然の脅威にさらされた年でした。

一迫中に勤めたのは二度。一度目のときは、10周年の記念事業として地域の方々から協力をいただき、八ツ鹿踊りの頭・収納戸棚等を含め一式そろえたことが思い出されます。八ツ鹿踊りが途絶えることなく受け継がれてきたのは、このときの皆様方の協力と支援の賜と感じています。

また、文部省指定の「体力づくり」の研究では、全校トレーニングで使用する施設づくりを父母の皆さんと一緒に汗したこともいい思い出となって残っています。二度目の勤務は、退職前の2年間、学校経営をするという立場での勤務。常に前向きな教師と生徒、特に部活動に取り組む子どもたちの熱意には感心させられました。とても悲しい出来事もありました。2人の尊い命を不慮の事故で失ったことです。悔やみきれない思いがいまも残っています。

震災の復興そして福島原発の収束を願うとともに、これまでの一迫中の歩みを思い、新たに開校される栗原西中学校の発展を祈念します。



△中学校総合体育大会

▽授業風景



△修学旅行



元号	年	月	日	沿革
平成	19	4	1	第15代校長 菅原 敏郎先生着任
	19	11	6	平成17・18・19年度県教育委員会指定「地域の教育力向上支援事業」ミニ公開研究授業
	19	11	16	全国都道府県対抗11人制中学生ホッケー選手権大会 男子優勝
	20	4		文部科学省指定「学力調査を活用した学校改善推進事業」の推進
	20	5	16	県教委指定「学習支援室システム整備事業」の推進（H20から3ヶ年）
	20	6	14	「岩手・宮城内陸地震」により体育館等被害を受ける
	20	8	15	全日本中学校ホッケー選手権大会決勝トーナメント進出・男子ホッケー
	20	8	20	全日本中学校バレーボール選手権大会決勝トーナメント進出・女子バレー
	21	4	1	第16代校長 三浦 典道先生着任
	21	8	13	全日本中学校ホッケー選手権大会 男子第3位
	21	11	6	石綿除去工事、プール改修工事（H21.11～3）
	21	11	13	全国都道府県対抗11人制中学生ホッケー選手権大会 男子優勝・女子第3位
	22	7	21	体育館耐震工事（H22.7～10）・校舎耐震工事（H22.7～12）
	22	8	11	全日本中学校ホッケー選手権大会 男子第3位
	23	4	1	第17代校長 高橋 孝夫先生着任





△ 運動会 (それいけハリケーン)▽



運動会 (応援合戦)



◀ 運動会 (長縄跳び)



◀ 花山合宿



2年農業体験 ▶



△ 八ツ鹿踊り



▽ 合唱コンクール



▽ 生徒総会





ありがとう追中!そして西中へ...



今日まで本当に
ありがとうございました。

一迫中学校
いろいろと
ありがとう

40年間...長かった
けど、ホントにあり
がとう!!

長い間ありがとうござい
ました。これからは追中
の伝統を西中にも受けつ
いでいきたいです

長い間、ありがとう!!
私たちは1年しかお世
話になっていませんが、色々な
思い出ができました。本当にあ
りがとう!

40年長い間
いままで
ありがとう!!

入学してまだ
1年しかたつて
いないけどお
世話になりました。

短い間だ、たけとありがとう。

40年間ありがとう
ございました。これか
らは西中として元々張
てください。

いままで
ありがとう追中!
1年間だけ
だけど!!

追中40年
ありがとう!

一迫中40年間
本当に
ありがとう!



いままで40
年間ありがとう
う。

今までいろん
な思い出あり
がとう。

40年間、
ほんとうに
ありがとう!

今年だけで良く
分らないけど
とってそ楽しかっ
た!!
1年間だけだった
と楽しかった。
今までありがとう。

40年間...長い!
追中は終わるけど
西中がスタートする。
西中でいかにがんばろう!

追中での思い出
そして
40年の歴史を
ありがとう!

いままで
ありがとう。追中。
これから
よろしく。西中!

40年間がんばって
くれてありがとう。

長い間ありがとうござい
ました。これからは西中
としてぼくたちががんば
ります。

追中40年
間ありがとう
う西中でも
よろしく!

いままでいろ
んな思い出
ができました。
ありがとうござ
いました。

たくさんのいい思
い出をありがとう
ございました。

40年間の歴史思い出
いろいろよくがんば
った一迫中学校ありがと
うふかいました。

追中今まで
ありが
とう!!





僕の学校での思い出は
迫中祭です。僕にとって最
初で最後だったので、と
ても心に残っています。

学校では迫中祭をいっは、いっ
しい思い出がありました。楽し
い思い出がいろいろあります。楽し
い思い出がいろいろあります。

この一年間の一番の思
いは、運動会です。自分にと
っては、最初で最後の運動会
で、一年二組全員が力を合
わせで月曜まで頑張りました。

40年間今までの
生徒たちを育て
てあげてありがとうございます。

僕にとっての思い出は、
合唱コンクールで上位には
入れませんでした。中館先生
に、特別賞をもらったことです。

学校での思い出は、花山
合宿が楽しかったです。
花山合宿でドッチボールの
会などをしてとてもいい思
い出になりました。

ぼくの一迫中学校での
一番の思い出は、運動会
です。走り、つなぎなどを
がんばったことがぼくの思い出
です。とてもいい思い出をつくっ
てくれてありがとうございます。

1年という短い間でした
が、たくさん思い出を
つくらせてもらいました。
本当にありがとうございました。

迫中での思い出は、花山合宿
や運動会、迫中祭が思い出
です。迫中にきて1年しか経って
いないのに、いろいろな思い出が
あります。新しい中学友達も
いろいろと元気がいいです。

迫中祭で合唱な
どを頑張っていた
ことが思い出です。

僕の思い出は、運
動会で、1年2組全員が
力を合わせて勝ったこと
です。

音活での皆で
笑ったり寝たりして
音活があたから友達と
の関係や野球がうまい
の関係を、一迫中学校は
なりました。一迫中学校で
なれることがとても音活を
楽しみたいです。

僕は、市、県の陸上
大会が心に残りました。
2、3年生の先輩達と迫中
としての最後の陸上大会で
汗を流したことが思い出
です。

学校では迫中祭などの
いろいろな思い出がありました。
新になる学校でも、思
い出をいっぱい作っていました。

ぼくは、運動会や
花山合宿などが楽し
かったです。
迫中祭もぼくたちにとっては
最初で最後の迫中祭だ
けとても楽しかったです。

西宮交流会でバク
ーを作ったこと、本音大
会でダンスを踊った
ことが楽しかったです。

私の思い出は、
合唱コンで1組に負け
てしまったけど、中館先生
に特別賞をもらったこと
です。うれしかったです。



1
の
2

友達と教室で話し
たり廊下で遊んだことや
迫中祭の合唱コンクールで
みんなが一つのことにか
けて一生懸命がんばったこと

この一迫中学校での
思い出は、迫中祭です。
合唱コンクールでは、銀賞
だったけど、楽しい迫中祭
でした。

入学して1年、短い間では
けど、運動会で優勝できたこと、
迫中祭での花山の感動は一生忘
れられない思い出です。迫中での思
い出を大切にしたいです。

私にとって初めての、
迫中として最後の文化祭
迫中祭が1番の思い出です。

一迫中学校での思
い出はみんな協力し
た迫中祭での合唱コン
クールです。銀賞だった
けど楽しかったです。

迫中祭が一番の思い出です。
私たちにとっては最初で最後の
迫中祭だったけれど、
とても楽しくたくさん笑った
ことが印象に残っています。

迫中最後の
運動会です。
思い出に残りました。

一迫中学校の
思い出は、みんなで頑
張った合唱コンクールや
花山合宿です。とても楽し
かったです。

一迫中学校での思
い出は、迫中祭の合唱コン
で、1組に
負けたけど、一生懸命に取
組んだことです。

一迫中学校での1年間の思
い出は、運動会で優勝したこと、合唱
コンクールで1組に負けたことな
りませんでした。栗原西中にも思
い出をたくさん残したいです。

最後の運動会で
優勝できたことです。

友達がたくさんできて
毎日笑っている事が
私にとって一番の思い出です。

ペーパークラフトで
オートバイを作った
ことが楽しかったです。





今まで
Thank You!

入年間マジ楽し
かったです
追中ありがとうございました

追中が40年の歴史
に幕をおろすのは悲しい
けれど、これから西中の
1年目の歴史を全員で
つくりあげていきます

今まで一迫中学校として生活
して来ましたが、来年探検西
中が本になったので、日々の
生活態度を改めていたし
思いました

2年間という短い期間
でしたが、とてもいい思
い出になりました。今まで
ありがとうございました

追中にいた2年間
最高でした。
Thank You!

追中にいたのは最高の年
代でした。楽しい思い出
が沢山あります。追中
生活が大好きでした。
今までありがとうございました

私は2年間追中にホセ吉吉に
なりました。
今まで生きてきた歴史が
終わってしまうのは悲しいけど
楽しい思い出もたくさんあ
りました。今までありがとうございました
大好き追中

40年間、おつかい様
です。いろいろな思い出
があります。追中が
西中になってもよろしく

2年という短い期間ですが、
追中の生徒としてとても
幸せでした。僕たちが栗原
西中の使用生として歴史
を築いていきました

今まで一迫中学校の歴史
に幕を下ろすのは、とても
かたがたいです。これから
西中生としてがんばって
いきます

一迫中学校は40年の
幕を閉じますが、僕たち
の心の中にはずっと生き
ていきます。今までありがとう

敬多くの思い出が
出来た一迫中学校。
ありがとう

2-1 一迫中学校ありがとう

追中には2年しかいりませんが、
たけいすく敬愛が湧いて
きたころでした。追中40
年間おつかい様。そして2
年間ありがとうございました

一迫中学校に2年間しか
いなかったけど、思い出がた
くさんあります。追中生活
が最後まで楽しかったです

今まで2年間の思い出が
たくさんあります。追中の2年
間は、とても思い出が
たくさんあります

2年間追中生活で、
成長できました。
西中として、またたく
さん成長していきたく
です

追中にいたのは、2年間の
思い出です。追中生活で
友達に出会ったり、みんなと
かみあわたり、とても
2年間になりました

今まで本学になり
がとうごきょう
ありがとうございました

ありがとう 一迫中学校...
さようなら 一迫中学校...
忘れぬよ 一迫中学校...

みんなが追中で過
した長いようす。矢張り
学木文生と西中に
なりました。追中
ありがとうございました

一迫中学校で
いろいろ思い出が
出来ました。いままで
ありがとうございました

最高の思い出
Thank You
Very much.

2年間という短い期間でも
追中生活になれて
幸せでした。
皆さんの思い出ありがとうございました

2年間ありがとう
追中
ありがとうございました

2年間一迫中学校に
いた生活が楽し
かったです。追中
生活が楽しかったです





約40年間とびきりな
生徒を送りとどけ
てくれました。い
ちばんありがとうございます。

38年間本当にありが
と。してさようなら
追中

40年間おつかれさま
でした。栗原西中
になってもがんば
ってください。こ
れからよろしく

38年間ありがとう
ございました。
今までで最高の
学校でした。追中
さようなら...

38年間続けて
今までありがとう
ございます。

いままでいろいろ
なことがあった
けど一緒に
乗り越えてきて
ありがとうございます。

追中のおかげで
楽しい思い出が
たくさんでき
ました。40年
間本当にありが
と。

地震の直前とい
ろいろなことが
あったけど
守られてありが
と。

38年間今まであ
りかとうござい
ました。最高
の学校でした。

約40年間、入
学生、卒業生
を毎年送り出
して、ありがとう
ございます。

いままで支
えてくれてあ
りかとう。そ
してさようなら
追中云々

長い間、おつか
れ様です。地震
にもたんで、
皆を守ってく
れて本当にあ
りかとう。私は
一生追中生徒
です。

へ道まん道に
さかえあかん
約40年間あ
りかとう!!

ありがとう 追中 ～40年間の 感謝をこめて～

40年間みんな
に大切な思
い出をくれて
ありがとう。

38年間一迫中
学校として追
中を支えて
くれてありが
とございました。

38年間私達
を守ってく
れてありが
と。いまだ
おつかれさま
でした。

これからは私
達か新しい
伝統を築
いていきます。
今までありが
と。

この学校の
おかげで
たくさん
の大切な
思い出を
作るこ
とができた
です。約
40年間
おつか
れさま
です!!

今まであ
りかとう
転校して
きたから、
この校
舎には
本当にお
世話に
なりました。
約40年
間おつか
れさま!!
ほんとう
にThank
you...

約40年間
ありがとう
ございました。
追中の
伝統を
西中
に引き
継いで
いきます。

40年間
ありがとう
ございました。
今まで
お世話
になり
ました。

38年間
ありが
とござ
い
ました。
これ
から
も2
年
間
迎
え
た「
追
中
学
校」
を
忘
れ
ま
せ
ん。

約40年間
おつか
れさま!!
これ
からは
栗原
西中
とし
て、
よろ
しく
ね!!

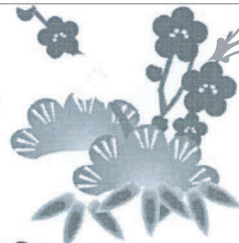
約40年
間おん
がな
を
支
え
て
く
れ
て
あ
り
か
う。
お
つ
か
れ
さ
ま。
我
ら
の
追
中!

40年
間、
お
つ
か
れ
さ
ま
!!
こ
れ
か
ら
は
新
しい
学
校
と
し
て...
よ
ろ
し
く
お
願
い
し
ま
す





一迫中大喜利 (参ノ巻)



1. あいうえお依文で表す一迫中学校

㊦ つも ㊧ チャレンジ ㊨ くちゅう魂 ㊩ だめる心 ㊪ まっすぐに	㊦ つても ㊧ かくに ㊨ は、 ㊩ いこうの ㊪ おだち	㊦ つも ㊧ ちゃいむで ㊨ はじまる ㊩ わやかな ㊪ いにち
㊦ ちはさま ㊧ ちゅうがっこうは ㊨ げまし合い ㊩ さえあって ㊪ なぶ場所	㊦ つも明るく ㊧ からを合わせて ㊨ げまし合い ㊩ さえあうことを ㊪ なんだ場所	㊦ つても ㊧ いきの人に ㊨ げまされ ㊩ さえられ ㊪ もらわれてきた

2. なぜかけ

お題「一迫中学校の生徒」

一迫中学校の生徒とかけて、時間が経った百円玉と解く、その心は、どちらもコウカにホコリがあります。	一迫中学校の生徒とかけて、山登りのあとのひざと解く、その心は、どちらもよくわらいます。
一迫中学校の生徒とかけて、整備されていないグラウンドと解く、その心は、どちらも固いイシがあるでしょう。	一迫中学校の生徒とかけて、ゴールデンタイムの番宣と解く、その心は、どちらもこうかがスゴイです。
一迫中学校の生徒とかけて、えんぴつと解く、その心は、どちらもシンがあります。	一迫中学校の生徒とかけて、お坊さんと解く、その心は、どちらもガッシュウします。
一迫中学校の生徒とかけて、白い犬と解く、その心は、どちらもおもしろいです。	一迫中学校の生徒とかけて、アンパンマンと解く、その心は、どちらも正義感が強いです。
一迫中学校の生徒とかけて、モナリザと解く、その心は、どちらも笑顔が素敵です。	一迫中学校の生徒とかけて、太陽と解く、その心は、どちらも大切な存在です。
一迫中学校の生徒とかけて、自動販売機のおつりと解く、その心は、どちらもコウカを大切にします。	一迫中学校の生徒とかけて、道路と解く、その心は、どちらもこうそくがあります。
一迫中学校の生徒とかけて、金正日と解く、その心は、どちらも子ョウセンが大事です。	一迫中学校の生徒とかけて、山の水と解く、その心は、どちらも天然です。

一迫中学校とかけて、ミスターと解く、
その心は、どちらも永遠に不滅です。



短 歌 で 教 室 紹 介

《3階編》

〔1年学年室〕 学年室 あまり使わないこの場所で まじめに練習 合唱コン
 〔1年教室〕 あの頃の この気持ちが なつかしい 緊張した この場所が
 〔2年学年室〕 冬場には 墨汁飛び交う 戦場に 黒液で描く 一冬の思ひで
 〔2年教室〕 進級し 東の空の下 始まった 新たな気持ちで 挑む一年

《2階編》

〔視聴覚室〕 ひろびろと しているここは 集会の 場所にもなった 視聴覚室
 〔カウンセリング室〕 学校で あまり使わぬ この部屋は 入ってみると 意外にキレイ
 〔理科室〕 理科室は いろんなものが そろってて 実験できる ふしぎな空間
 〔被服室〕 家庭科で ミシンつかった 被服室 みんなで悩んで みんなで協力
 〔生徒会室〕 会議中 新案求む 生徒会 行事に向けて 考え中
 〔コンピューター室〕 同級生 人が作った フォルダ消し 作者悲しむ みんな楽しむ
 〔3年学年室〕 だれだって 使っているんだ あの場所は そうさあそこは 第三の部屋
 〔3年教室〕 早三年 過ぎた時間を 思い出し 過ごす最後 巣立ちに向けて

《1階編》

〔図書室〕 図書室は 読書に勉強 学びの場 ある意味みんなの 四次元ポケット
 〔げた箱〕 げた箱は くつたちの家 にぎやかな みんなのくつに 会いに行こうよ
 〔音楽室〕 あせみずを たらして歌った 合唱を どう聴いてたかな 滝廉太郎
 〔技術室〕 技術室 日がたつほどに 何処へやら 日々なくなるよ 工具もろもろ
 〔美術室〕 美術室 美術室とは 言うけれど 部屋のにおいは ゴミステーション
 〔会議室〕 今日の日 は みんな部活が 無いのです 職員会議 なに話すのかな
 〔保健室〕 保健室 全校生徒の ホスピタル 今日誰かが かげぐちフィーバー
 〔リフレッシュルーム〕 リフレッシュ 長い説教 うだうだと 次の日学校 くるもんか
 〔校長室〕 何回か 入って感じた 校長室 VIP 集まる 豊かな場
 〔職員室〕 うらやましい 先生たちだけ 食べている お菓子やコーヒー みんなに分けて
 〔事務室〕 事務室で 電話借りるよ 迫中生 ノック殺到 廊下で大勢
 〔放送室〕 マイク手に きそコン結果 発表し 全国放送 だれもきかない
 〔職員玄関〕 各学年 冬の玄関 たわむれて 「ワヤワヤ」「ガヤガヤ」 電話をかける

《共通部分編》

〔配膳室〕 ごはんパン おかずとおつゆ 食器におぼん みんなの給食 集まるとこへ
 〔A棟東西階段〕 階段を 何回往復 したのかな いっぱいのぼって いっぱいおりた
 〔B棟東西階段〕 階段で 部活のときに 筋トレを 楽しげにして ほんとはつらい
 〔A棟トイレ〕 トイレでは きれいになったと いうけれど 入った瞬間 悪臭が
 〔B棟トイレ〕 途中から 使用不可能 だったケド いまはきれいな トイレになった

《外編》

〔体育館〕 体育館 みんなで集う いこいの場 みんな大好き 思い出の基地
 〔武道館〕 部活中 竹刀をバットに 野球中 顧問来るまで 試合は終わらず
 〔部室〕 泥まみれ ほこりだらけの 不衛生 夏は最悪 蒸し風呂地獄
 〔校庭〕 グラウンド 教室からの 景色をみ ついつい見とれ たそがれる日々
 〔駐輪場〕 放課後の 会話がはずむ 駐輪場 みんなの声か まわりに響く



◀ 一迫中学校生徒総会傍聴

▽ 花山中学校生徒総会傍聴



▽ 迫中祭での生徒会長同士の感動の握手

△ 2年修学旅行に向けて



▽ ハツ鹿踊り上演（花山中学校文化祭）



△ 花山神楽上演（迫中祭）



△ 1年職場訪問に向けて





あとがき

栗原市立一迫中学校
教頭 小野寺 敏幸

栗原市立一迫中学校は平成23年度末を最後にその歴史の幕を閉じます。

この度、閉校記念誌を作成するにあたり、栗原市長佐藤勇様、栗原市教育委員会教育長亀井芳光様をはじめ、歴代の校長先生並びに卒業生の皆様にご寄稿いただきましたことにまず感謝申し上げます。また、多くの方々のご協力をいただきまして発刊し、一迫地区の全世帯に配布する運びとなりましたことに、心から御礼を申し上げます。

この記念誌は、統合以来40年間の一迫中学校のあゆみが、沿革と写真、寄稿文や在校生の寄せ書きで綴られており、ご覧になっていただいた方々には、一迫中学校のその時その時を懐かしく振り返っていただけるものと自負しております。また、併せて閉校記念のホームページを作成し、栗原市のホームページの一角に載せていただいております。栗原市在住の皆様をはじめ、県内県外の皆様にも広くご紹介いただき、末永く話題にしていいただければ幸いです。

今回の学校再編にあたりましては、一迫・花山地区中学校学校再編準備委員会の皆様、栗原市当局、教育委員会の皆様の全面的なご支援ご協力の下に、校名の選定、校章や校歌、制服、運動着の改定を行ってまいりました。また、一迫中学校、花山中学校の両校職員が知恵を寄せ合い、4月からすみやかに教育活動を展開できるようにと現在準備を進めております。

栗原市立一迫中学校は平成24年度に栗原市立花山中学校と再編し、栗原市立栗原西中学校として生徒三百数名、職員二十数名で新たな歴史の幕を開けます。これからも生徒達をこの地域、栗原市の宝と考え、教職員一丸となって誠心誠意教育活動にあたる所存でございます。

今後も一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます、あとがきといたします。



栗原市立一迫中学校閉校記念誌

発 刊 平成24年3月
発 行 栗原市教育委員会
企画・編集 栗原市立一迫中学校



自律 自主

平成7年度卒業生一同

